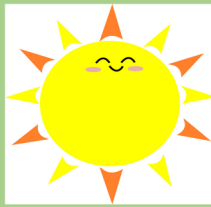


山五小

おひさま通信



10月号

山形市立第五小学校
平成27年10月29日
校長 三 森 聡

秋空に響きわたる五小サウンド 3・4年合唱隊 & 吹奏楽部



山形市民合同音楽祭で発表(3・4年生)



東部公民館祭りで発表(吹奏楽部)

10月23日(金)、第59回山形市民合同音楽祭に3・4年生(76名)が合唱隊として出場しました。「人はみんな誰でも一人では生きていけないから、いつも素敵な友達とこの手をつなぐのさー♪」(歌詞 梶賀千鶴子氏)と大切な友達のことをイメージして歌うなど透き通った二部合唱のハーモニーが市民会館大ホールに響き渡りました。

また、24日(土)の東部公民館祭り、28日(水)の山形市小学校吹奏楽発表会では吹奏楽部(37名)が迫力あるブラスサウンドを響かせました。人気アニメ「名探偵コナン」の曲は、速いテンポで細かいリズムですが、日頃の練習の成果を発揮して上手に演奏することができました。4年連続「東北バンドフェスティバル」(仙台市)に出場してきた実績も子ども達の自信になっているようです。



週3回の朝練習の様子

※吹奏楽部では、これから部員を募集しますので、興味のあるお子さんがおりましたらぜひ応募してください。(現在、4年10名・5年14名・6年13名)



ミサコさんの被爆ピアノがやってきた!

五小
平和コンサート

1945年8月6日、原子爆弾が広島に投下。ミサコさんの家は、爆心地から1.8km、ほぼ焼け野原になる中、奇跡的にミサコさんのピアノは無事でした。ミサコさんは、この原爆を乗り越えたピアノを通して戦争の悲惨さを日本中の子ども達に伝えようと、広島市の調律師・矢川光則さんに託しました。



ミサコさんのピアノを弾いて音を確認する子ども達

9月30日(水)、ミサコさんのピアノは、はるばる広島から本校3階の視聴覚室に運ばれました。矢川さんと一緒に来られたピアニストの福田直樹さんが、ベートーヴェンの「月光」を静かに弾き始めると、被爆ピアノを前にした子ども達は、その音に吸い込まれたかのように真剣な表情で聴いていました。

国語の教科書には、4年「一つの花」や6年「川とノリオ」など戦争教材があり、戦争について考える機会がありますが、実際に被爆したピアノを目の前にした子ども達は、その**音を通して戦争の悲惨さを感じ、平和を願っていたこと**と思います。



矢来光則さん(左奥)と被爆ピアノを演奏する福田直樹さん

日本が戦争に負け、悲しみ、のどん底にいる人達に何かしてあげたいと、この被爆したピアノを弾いたミサコさん、ところが「日本が大変な時にピアノなんか弾くな！」とみんなからの罵声と投石…。

作家の松谷みよ子さんが、ミサコさんのこの被爆したピアノに基づいて絵本にしています。(図書館にあります)

今、五小の子ども達の約三分の一の家にはピアノがあり自由に弾いても怒られません。音楽などの芸術が堂々とできることは平和であることでもありますね。



自分達で計画し、見通しをもって行動

—6学年修学旅行 テーマ別研修— 10/1~2

10月1日(木)「協力して仲間との絆を深めよう」のローガンのもと、東京方面への6学年の修学旅行がありました。

日本の文化や政治、科学、都市機能などに実際に触れながら見聞を広めてきました。特に本校では、4つのテーマ別研修の係ごとに事前に下調べ(下欄)をさせ、見通しをもって行動できるよう準備しました。**実際には計画どおりにはうまくいかないこともありました**が、**班の子ども達同士で学び合いながら解決し達成**することができました。



班別研修 浅草寺・浅草仲見世通り

■ テーマ別学習

- ① 国立科学博物館
- ② 江戸東京博物館
- ③ 科学技術館
- ④ NHK放送センター

■ 係ごとに事前に下調べ

- ① 移動係—移動方法・代金・乗降車時刻と駅・通路
- ② 見所係—施設の特色・見学体験する場所のおすすめ案
- ③ 食事係—昼食場所・メニューと金額



東京駅前



国会議事堂で



地下鉄東西線の電車内



地図板で通路を確かめ合う